

「ふくろうの樹」開所式：5月23日



グループホーム「神戸平野ふくろうの樹」
開所式：5月23日（日）午前10時～
内覧会： 〃 午後1時～
問合せ：ふくろうの杜 竹原まで
電話 078-798-7940・FAX078-798-7941



～自治会総会～4月20日開催

議長には月ユニットの勝楽佐代子さん
にお願いし、議事進行をスムーズに
進めることができました。

神戸施設建設委員会への寄付について
も提案され、賛成多数で可決されまし
た。(写真上)新役員選出の際には、入
居者から積極的に立候補の挙手があ
り、次々に新役員が決まりました。

1年間よろしくお祈りします。

自治会新役員紹介

- (会 長) 松崎 恵子さん
- (副 会 長) 吉見 輝子さん
- (事務局長) 北風 章子さん
- (会 計) 廣島 彰さん
- (企画担当) 高木 妙子さん
- (食事担当) 夜久 保子さん
- (生活担当) 石崎 國廣さん
- (花 代 表) 長谷川 清さん
- (木 代 表) 入谷ふじゑさん
- (月 代 表) 勝楽 佐代子さん
- (川 代 表) 平野 太さん
- (星 代 表) 澤田 つや子さん
- (海 代 表) 宮崎 稔子さん
- (監 事) 吉村 治郎さん

「神戸平野ふくろうの樹」が4月末
に完成し、5月1日から当法人がお
借りします。6月1日開所に先がけ
て、5月23日に開所式及び内覧会を
開催いたします。

「神戸平野ふくろうの樹」はオー
ナーの郡勝平様が、当法人の事業を
う。 (神戸事業所 竹原 哲章)

神戸平野
ふくろうの樹完成

理解され、建てていただいた建物
を当法人がお借りし、運営をさせ
ていただきます。

開所式につきましては、各団体
の代表者にご参列いただき、ささ
やかながら完成披露をさせていた
だきます。

2021年度重点目標
(重点課題・強化事項)

1. 中川原地域の課題、文化での地域興し

ふれあい劇場やさくら食堂・カフェ整備、そ
れに合わせておのころの家の農福計画の策
定、神戸長田ふくろうの杜などの事業連携、
このトータルな計画について洲本市との意
見交換、指導を得て、計画の推進を図る。

2. 神戸長田の経営安定への全力傾注、定員の
利用契約

新たに居宅介護支援事業所の設立を進め
る。関係事業所の協力を求めて、神戸長田ふ
くろうの杜の利用希望者を実際の利用に繋
いでいく。神戸平野でふくろうの樹の開所
と安定経営。新卒業生などの親から独立が
望ましい若い発達年齢層の利用者確保や制
度的な改善に取り組む。

3. ふくろうの郷など介護保険制度改善に向けての提言や運動体
との共同

- ①特養4施設の作業チームの検討資料を研究チームなどと連携
- ② 遠隔手話通訳による対象者を切り捨てが発生しない取り組み
- ③優生保護法に関わる課題を関係者・団体と繰り返し取り組む

4. 発信事業の新たな取り組み

7月までにすべての事業所を含む法人のホームページを新規
作り直しと新たな発信の施行

5. ふくろうの郷15周年記念事業(重点1との関わり)

10月24日に第16回ふくろうふれ愛まつりと15周年記念事業
を一体的に実施する。

ふくろう新聞

<発行>

特別養護老人ホーム
淡路ふくろうの郷
広報委員会
洲本市中川原中川原28番地1
TEL:0799-25-8550
FAX:0799-25-8551
ホームページ
<http://hyoufuku.main.jp/fukuro/>

グループホーム建設用地にて長年暮
らしてこられた、郡様の奥様のお母様
が作られた押し絵をぜひ、神戸平野
ふくろうの樹に飾って欲しいとご持
参されました。とても温かな可愛い作
品。大切に飾らせていただきます。





▲書道講座には皆勤賞の保子さん

また、誰に対しても平等に接し決して人の悪口は言わなかったそうです。地域との交流を深め「行事に参加する」という当たり前のことが活動を支える一番の基盤であることが示された結果、今年の終わりに神戸市身体障害者福祉大会で内助功労賞を受賞されました。

中村久香



▲5月4日(火)演劇講座に参加され笑顔の保子さん

花木ユニットにいつも肩から鞆を下げ、洗濯物をたたんで下さっている方がいます。夜久保子さんです。神戸市東灘区で暮らしておられる頃、買い物に行かれた時などに帰れなくなる事が増え始め、ご主人がどこに行くにも付き添うなど献身的にお世話をされていましたがご主人も病気になる入院されたために令和2年4月11日ショートステイを経てふくろうの郷に入居されました。昭和17年3月18日豊岡市生まれの79歳。子供のころは豊岡の聾学校に通っていましたが、もっぱら遊んでいたのは近所のきこえる子ども達

ご主人とはお見合い結婚で言葉少なく「子供は持てなかった」と話されます。専業主婦をしながらご主人と神戸ろうあ協会の様々な企画やサークル活動に長年携わっていました。当時のことを知る方にお話を聞くと夜久さんはご夫婦でいつも活動に参加されていました。保子さん自身も手話講座の講師をするなどろう者と健聴者の架け橋をされていたそうです。

ふくろうの郷では聞こえる方といつも一緒におられ、その方がいないと「どこへ行ったの心配」と話されま

陰ながら献身的に夫を支え



▲仲睦まじく紙相撲

～生きた時代・社会～

- 昭和16年 第二次世界大戦
- 昭和20年 原爆投下 広島・長崎 敗戦
- 昭和21年 憲法公布
- 昭和22年 学校教育法(ろう教育義務化)
- 昭和23年 優生保護法
- 昭和29年 ビキニ沖水爆・経済高度成長期
- 昭和41年 国際人権規約
- 昭和50年 障害者権利宣言
- 昭和54年 民法11条改正
- 昭和56年 国際障害者年
- 平成1年 子どもの権利条約
- 平成7年 阪神淡路大震災
- 平成11年 国際高齢者年
- 平成12年 介護保険制度開始
- 平成13年 ICF採択
- 平成24年 東日本大震災
- 平成26年 障害者権利条約批准
- 平成28年 障害者差別解消法施行

ふくろう物語

夜久保子様

でした。縄跳びをしたり、川で貝取りをしたそうです。

豊学校卒業後、洋裁の学校へ行き卒業後豊岡の洋服店で洋裁の仕事をしていました。その時もきこえる方々と一緒に働かれています。

音声翻訳アプリ を活用して



令和3年3月、ナースコー
ルシステム構築工事を行いま
した。スマートフォンを導入
し、聞こえる・聞こえない職
員にも等しく情報を受け取る
情報網を整備しました。これ
により新しい機能が端末に追
加することが出来、今回はそ
の中の「話したことを文字に
変換」してくれる機能につい
て触れたいと思います。

まず、スマートフォンがあ
ればこの機能(アプリ)は無
料でダウンロードすることも

可能です。そして、紙やペン
を持たなくてもボタンを押し
てから話すだけで、話したこ
とがそのまま文字に変換され
表示されます。中途難聴など
で「手話はわからないが、文
章はわかる」方に特にこの機
能は有用性があります。

ふくろうの郷では「聞こえ
ない(聞こえにくい)」という
方は珍しくありませんが、も
とも聞こえていた方で、年
齢を重ねてから聞こえなくな
った方も居られます。そうい
った方には手話では通じず、
その都度文字を書いてコミュ
ニケーションをとる必要があ
りました。そのためには一旦
手を止め、両手を使う必要が
ありました。しかし、音声文
字変換アプリを使用すること
で何かをしながらでも文章を
作ることが可能になりました。

私はよく居室で寝て過ごさ
れている方で手話もわからな
い方に対して使っています。
以前もボードに書いてはいた

4月20日(火) 午後に星海ユニットで、映画「ゆずり葉」
の上映をおこないました。全日本ろうあ連盟創立60周年記念
の作品で、主演は職員の庄崎隆司さんです。ろうあ者の苦勞
と親子の愛が描かれた本作に自らの人生と重なるものを感じ
たのか、普段は午後から居室で休まれることの多い田中さん
は104分の上映時間をものともせず最後まで食い入るように



見られます。困難を超
えて無事に出産できた
シーンに、松崎さんは
涙を流しながら「良か
った。私も子どもが欲
しくなった」と話され
ました。今後も、施設
内でも入居者様が楽し
める企画を工夫してい
きます。

(生活援助員 酒井裕子)

のですが、音声変換アプリの
方が早くて文字量も多いため
か、実際に話しているように
感じられます。また、その方
は普段あまり発語もありません
が、時々文章を読み上げら
れることも見られました。居
室で過ごすことの多い方にと
って声を出す機会が増えた事
は嬉しいことだと感じます。

このアプリの存在をご家族
の方に紹介すると「家族でも
使えるかも」と興味を示して
くださる方もおられました。
ただ、欠点もあり周囲が騒が
しいときなどは特に使用が難
しくなります。

今後も継続して使用し、上
手に活用していきたいと思
います。

(生活援助係 木下卓幸)

5月・6月 ふくろうの暮らし

- 5/18(火) 絵手紙・おのころパン販売
- 5/19(水) ふくろう喫茶
- 5/21(金) 書道講座
- 5/28(金) 料理講座・回想法
- 6/ 1(火) 演劇講座
- 6/ 2(水) 誕生会
- 6/ 4(金) おのころパン販売
- 6/ 7(月) ふくろう理髪店



今年も地域の方のご協
力で、ふくろうの郷に
「こいのぼり」があがり
ました。
ありがとうございます。

**淡路聴覚障害者
センター便り**

洲本市港 2-26
洲本市健康福祉館 3階

**関係機関と連携し、
センター機能の強化を
令和3年度センター事業計画**

① 高齢難聴者が増加傾向にあるものの、なかなか支援に結びつきにくいのが現状です。少しでも支援の幅がひろがるようにと移動相談を再開します。センター登録の有無関係なく身近な地域での相談場所として活用していただきたいと思えます。

② 聴覚障害(聞こえ)について地域の方々に理解を広めるため出前講座「聞こえの教室」を開催します。

③ 引き続き、南あわじ市・淡路市での週1回の手話通訳者設置を継続します。さらに市との連携を深めセンター機能強化に努めます。

コロナワクチン接種の方法について

4月17日(日)淡路市・洲本市で社会生活教室

新型コロナウイルスワクチン接種については優先接種対象者や接種日など様々な報道がされ不安が高まっています。市ごとに社会生活教室を開催し、市担当課の職員に予約方法や接種日当日の流れ、また通訳配置の方法等について説明いただきました。

午前は淡路市役所会議室で開催

淡路市は地区ごとで接種日が決まっており、聴覚障害者は自分の住む地域で通訳者が配置されている日を選び申し込む。予約が取れると接種券が届きます。

午後は洲本市役所会議室で開催

洲本市は4月22日(木)から接種が始まります。接種券や予診票の確認、主治医に接種可能かどうかを聞くこと等資料を見ながら説明をしていただきました。「ワクチンはどの製薬会社のですか?変異株への効果は?」等の質問に答えてもらったりしました。参加者は接種当日、通訳者の配置があるとの説明になによりも安心されたようです。



▲淡路市健康増進課課長の榎 康次氏より説明を熱心に聞く参加者

す。
④ 淡路で独自に手話通訳者養成講座を開催し、手話通訳者育成を強化します。
⑤ 聞こえない・聞こえにくい子供とその保護者同士の交流を図ります。
⑥ 職員の専門性向上のために研修会や事例検討会を積極的に開催します。
(センター長 楠本恵利子)

手話通訳・要約筆記の配置で安心してコロナワクチン接種



▲手話通訳を介し質問に答える大矢さん

4月22日(木)、洲本市文化体育館で行われた高齢者対象の内、基礎疾患のある者として大矢 暹さん(法人理事長)が第1回目の接種を受けられました。予診票の確認では持病や服薬の状況等細かく質問がありましたが、手話通訳を介しスムーズに進めることができました。同日には難聴者1人も接種。要約筆記者が対応しました。

4月24日、同体育館で、ろう者3人に対して手話通訳者1人、難聴者2人に対して、要約筆記者1人が通訳を行いました。

接種後、「通訳ありがとう」と声をかける方もあり、前もって社会生活教室等で通訳の配置については伝えてあったので、安心して接種会場に足を運んでもらえたと思います。

弁当も食べたいな～ デイお茶会



中川原高齢者・障がい者地域 ふれあいセンター

兵庫県洲本市中川原町中川原 222-2
☎656-0002
TEL 0799-28-0990
FAX 0799-28-0992

ふれあい工房で満開の桜を見ながらお抹茶いただきました。お天気よく、お弁当食べたいなあ」という声も聞こえてきました。
(デイ桜ヶ丘)

利用者のみなさん、所長賞授与無事終了しました

3月29日(月)おのころの家として開設以来、初めて所長から利用者のみなさんへ所長賞が授与されました。
「剪定賞」「大作頑張ったで賞」「育成賞」など、一人一人に手渡され、恥ずかしい表情や驚きの様子でしたが、翌日には額を買って飾ったことの報告が続々と届きました。



利用者の西端さんは「チャレンジ賞」今年一年(集中して塩作業)に取り組み、自分に厳しく一生懸命がんばりました。これからも素晴らしい面を発揮して作業に取り組んでいただきますと思います。
(おのころの家 興津)



3月30日(火)に利用者さんに所長賞を授与しました。事前に職員各々が、利用者さんの情報を提供し、一人一人内容の違った賞状が作成されました。当日、本格的な賞状が所長より手渡されると、利用者さんからは「初めて!」「びっくりした!」との声が聞かれとても驚いた様子でした。しわにならないうように大事そうに持ち帰っていました。

後日、お礼の言葉も聞く事ができました。利用者さんにとっても、職員にとっても、とても良い機会だったと思います。
(おのころ屋 山田)

淡路産新玉ねぎ多数発注のお礼

4月に、新玉ねぎ(極早生)の収穫時、加古川市のIさん、神戸市のTさん京都いこいの村職員より約60箱注文がきて下さり本当に嬉しく感謝しています。

5月から七宝早生・中生の玉ねぎ注文を承っておりますので、お待ちしております。よろしく願いいたします。

(おのころの家農業班の仲間)

淡路産「新玉ねぎ 春一番」販売が始まりました
昨年の種まきから約半年、肥料まきや草引き、消毒作業を経て、3月30日にタマネギ(春一番)の初収穫を行いました。この日ばかりは農業班の皆が「まっぴりした」とばかりに張り切って収穫作業を行ってました。
今後とも順次、レクスター、七宝、ターザンと品種は変わりますが、続々と甘くておいしいタマネギを収穫していきます。
皆で世話をしたタマネギを送り致しますので、ご注文をお待ちしております。
(おのころの家 矢田)



↑近くの公園までお散歩 満開の桜

「最近、暖かくなってきたね」と話すようになった頃に、B型と生活介護の利用者のみなさんと一緒にふくろうの杜の近くにある細田町公園へ行きました。細田町公園は、桜が綺麗と言われているところだそうです、見に行

春を感じられたお花見

〒653-0836
FAX .. 078 798 7941
電話 .. 078 798 7940

兵庫県神戸市長田区神楽町5丁目3の14の1
神戸長田ふくろうの杜

く前から「早く桜を見たいな」という声が多くありました。実際に見に行くと、大きな桜の木がドン！とありました。桜は何回見ても優しい色で、「本当に綺麗だね」と言い合い、温かい気持ちになりました。

「コロナでなかなか外出できない世の中ですが、近場にするなど工夫し、少しでも元気吸収にと願うばかりです。来年もまたみんなと一緒にお花見をしてたくさん笑顔が見られますように！」

ふくろうっこの春休み♪

放課後等デイサービスふくろうっこのが昨年12月にオープンして約6か月経ちました。春といえば卒業式や入学式等があり、出会いや別れの季節です。ふくろうっこの達にとっても進級、卒業、入学等の大きな節目の季節です。

3月の土曜日や春休みの約10日間はひな祭り企画や工作プログラム、音楽プログラム、ベトナムの文化や手話を学ぼう企画、お花見企画等を実施しました。

地域の子どもたちとのつながりが持てず、毎年の春休みはいつも寂しそうに過ごしていたけど今は笑顔が増えてきていて私たちもうれしいです！といった保護者の声もいただいています。

ふくろうっこの動物園に行きました♪

3月29日(月)には灘区にある王子動物園に行きました。天気が良く、子どもたちも大はしゃぎです。すべてのコーナーを回るために「どのように回ろうか?」「先にどこに行こう?」「ここまだ回ってないよ!」と話し合う様子が見られました。



↑王子動物園の園内地図を見ながら、次はどこに行こうか話し合い中!

予告 1億円達成記念のつどい

日程：8月8日(日)

午後1時～

場所：神戸市長田区文化センター
大会議室

内容：第一部・第二部

詳細については次号で

神戸施設建設募金 目標1億円に迫っています

2021.4.30 現在 募金合計額 **97,130,462円**

(プレート募金 349人)

目標1億円まで

2,869,538円